

*現物給付制度になる前は、助成分を戻してもらおう手続きが面倒であるし、分かりにくく、一度も手続きをしたことがありませんでした。現物給付制度になり、助かっています。小さな子どもがいると病院に通うことも多く、その場で…というのが、保護者としては便利で、現物給付制度になり本当に良かったです。

*子ども達を育てやすい環境にするのはとても良いことだと思います。でもそれが、将来、子ども達が大きくなって大人になった時につけとして回ってきてしまうのは、どうかと思います。

*未来を担う子どもの医療費くらいはカットしないで欲しい(無駄に病院に通ったりする人もいない制度だと思うので)。

*東京は中学3年まで医療費がただと聞いている。長崎ももっと少子化対策に力を入れてもらいたい。設備とかも不十分なので。せめて補助金でも、力を入れて欲しい。

*子どもの医療費は自治体として動くのではなく、国で実施して子ども全体(18歳未満)を対象として、助成を考えて欲しいです。

*福祉医療費受給者証の提示が無くても、現物給付制度が適用できるようにして欲しいです。

*福岡市など他県自治体では、乳幼児医療費は全額自治体が負担し、受診料無料の所もある。国全体でそういう制度を統一して欲しい。

*カットする対象が間違っている。生活保護を受けている人が、一部我々より贅沢な生活をしている。少子化対策を考えるのなら、さらに自己負担額を減らす方向で考えてもらいたい。

*医療や福祉など、生きていく上で一番重要なものが削減されるのは納得できません。他に不要な予算はあるはず(明らかに！)。

*市役所の担当課の方の対応、説明よりも、かかりつけ医、医院医事課の方の説明が分かりやすく丁寧だった。せっかく良い制度なのだから、もっと窓口対応、電話対応を良くしてもらいたい。新幹線を誘致する資金があるなら、福祉に利用して欲しい。

*以前住んでいた所は医療費が無料でした。県ごとに財政問題があると思いますが、全国共通の制度で医療費を助成して欲しいです。

*うちの子は喘息で、小児科や耳鼻科に通院することが多いので助かります。特に耳鼻科は毎日なので経済的にも助かりますし、喘息の薬も1回に5,000円ほど支払うことも合ったので、とてもありがたいです。「補助金減額」は、これから先、非常に不安です。

*現物給付制度になることを待ち望んでいたもので、実施されてとてもありがたいです。これまでの助成金の申請だと、不平等(申請した人だけが助成される)を感じていました。小さい子どもがいる家庭は、病院に連れて行くだけでも大変なのに、(銀行などでお金を引き出してから病院へ行くなど)病院代の心配もしなくてはいけなかったもので、現物支給になり、安心して病院に行くことができるようになりました。

*現物給付になったので、領収証を無くしたりした場合や、手続きに行く手間が省けて良いと思います。病院は早く出たい場合もあったりするので、大変良いと思います。

*小学校に入ってから病気をする(低学年)ので、せめて10歳くらいまでは引き延ばしてもらいたいです。できれば予防接種だけでも低料金にして欲しい。

*医療費の自己負担額が高いと思う。助成する子どもの年齢についても、もっと引き上げるべきだと思う。

*現物給付制度になり、医療機関に書類を書いてもらったり、市役所に行ったりする手間が省けて、とても助かっています。でも子どもが3人いると、複数の科に受診することも多く、医療費がそれでも多い時があります。これ以上医療費が増えると大変なので、補助は絶対に減らさないで欲しいです。

*子育て中に引っ越しを何度も経験し、現物給付が当たり前と思っていたので、長崎は最近までそうでなかったという事に驚きました。手続きに行けない人は給付されないの、それではせっかくの助成制度も行き届かないのでは無いでしょうか。

*現物給付制度になり、大変助かっています。なぜ、補助金をカットする必要があるのでしょうか？

*長崎大学病院でも「現物給付システム」をとって欲しいです。

*子どもが小さい時は病院を受診する回数も多く、記入したり提出したりと大変でしたが、現物給付制度により、特に小さい子どもをもつ方は助かっていると思います。

*ピンク色の証を持っていくのを忘れることがあり面倒。診察代すべてを給付していただきたい。年齢制限を引き延ばして欲しい。

*数年前、他県から転入してきて、現物給付が当たり前だと思っていた私は非常に不便だと感じ、不満を持ったまま数年間過ごしました。申請するにもバス代をとるか、切手代をとるか、一応毎回考えました。同じ思いや苦勞する人がいなくなるように国が考えるべき！！頑張って下さい！！

*今まで現物給付ではなかったために、病院に行くことをためらう場面もありました。以前居住していた千葉県では、前々から実施されており、待ち望んでおりました。

*他県の知り合いは、ずっと以前から当たり前のように話していたので、手間がかからずうらやましく思っていました。長崎県はどうして推進しないのか全く分からない。

*分かりやすい制度にして欲しい。少子化を防ぐために子どもの医療費は無料にして欲しい。そのために大人の医療費が上がっても良い。

*福祉子ども医療費は全額国が負担すべき。子は宝です。無駄な道路をつくり、議員手当など、カットする優先順位が他にもある。少子化ストップのためにも、育てやすい環境づくりをして欲しい。

*子どもが喘息の病気があるため、月に最低2回は通い、毎日予防薬を飲んでいきます。私たちのように持病がある子の親は、金銭面でもすごく助かっています。少子化の中、子どもへの色んな取り組みが行われているにも関わらず、医療（病院）の家庭への負担が増えればますます少子化が進むと思います。小学校低学年へ引き上げてほしいと思うぐらいです。

*「償還払い」で行っていますが、手続きになかなか行けないので不便です。また、医療機関では「現物給付」だけと思って、後で不足分を払いに行くことが度々ありました。現物給付制度をもっと多くの自治体で実施して欲しいです。

*少子化対策の一環として、ぜひ充実した制度を確立していただきたいと思います。

*長崎市に住民票を持った段階で自動的に対象年齢に受給者証が手元に届くようにして欲しい。二度手間だし、制度を知らないまま手続きしていない方も少なからずいると思うので。

*他県では就学前の子どもの医療費が無料の地域があります。子育て支援が充実したものになるとよいと思います。（地域で大きな差が出ないようにならないでしょうか？）

*以前大村市に住んでいましたが、手続きが済めばあとは楽に補助が受けられて良かった。福祉が充実した自治体だった。

*児童手当、就園奨励などを受けられない世帯にとっては、唯一、子どもに対して受けられる制度なので、続けて欲しい。すべて無くなると損をした気がして、働く意欲が無くなり、子どもをもとうと思う人が出てくるのでは。

*医療費助成制度は単なる選挙対策であり、必要なし。一般の国民と同様に2～3割の負担で十分である。

*現物給付実施は評価しているが、大学病院は通常支払いである。1人目が大学病院に毎月かかっているため、2人目が小さいのに市役所に行くのは大変です。大学病院でも使用できるようにして下さい。

*子育てで忙しい中、わざわざ手続きするのは非常に大変で面倒です。今の制度導入で家計も助かり、病院へも行きやすくなりました。感謝しています。カットになるのは本当におかしい。子育てしやすい環境づくりの日本ではないのか？大変だけれど、この制度はやめて欲しくありません。

*現在、医療費助成制度は小学校就学前の子どもの対象だが、もう少し対象年齢を広げて欲しい。将来的には他県

で医療費ゼロの所があるように、全国一律の制度になることを望む。

*子育てしている人にとってはありがたい制度なので、子ども達のためにも続けて欲しい。他の都府県とも情報を集め、国の制度として一律にして欲しい。

*現物給付制度は病気をしやすい小さな子どもをもつ親にとっては大変便利で、とてもありがたく思っていました。まさに少子化に優しい制度でした。今後もできるだけ続けて欲しいと思います（これから子育てを始める方々にとっても残して欲しいです）。

*子育てには手間もお金もかかります。親（保護者）の負担を少なくする制度を充実させて下さい。少子化の中で、一生懸命子育てしている親たちがたくさんいます。

*小学生も対象にしてもらえるといいな（年齢の延長希望）と思います。

*利用者にとって非常に良い制度なのに補助金を削減するのはなぜでしょう。便利になった＝余裕があるという判断なのですか。これでは現物給付の制度は広まらないですね。現物給付制度は本当に便利になり、助かっています。正直なところ、800円の自己負担もなくなってくれたらいいのになと思います。医療費は無料という自治体も多くありますよね。財源が厳しいのはわかりますが、少しでも子どものためにいい制度を作ってもらいたいと思います。

*小さい子は医療費が結構かかります。できるだけ助成をしていただき、子育てにお金の負担が減るようにしていただきたい。年寄りと小さい子にやさしい、弱い立場の人の助けになる長崎市（県、国）であってほしいと思います。

*子どもにかかる費用はこれから益々かさむのにカットするのはおかしい。少子化を助成させる要因に繋がるのでは？

*他県に住んでいる時、医療費の助成に所得制限があり、受けられなかったことがあります。長崎は全ての子どもが受けられるのでありがたいと思っています。

*長崎に転勤してきて始めて医療費を払っているので、これ以上負担額が増えるのは、反対です。

*現物給付制度の方がコスト削減につながるのとは明らか。又、小さい子どもを抱えている母親の事務量が少しでも減らすことが出来たのは非常に評価すべきと感じる。

*助成があると助かります。財政がきついのはわかりますが、ココを乗り越えて子どもを産む人を助け、少子化が進まないように出来るといいんですが…。今は子どもを住んで育てるには少し厳しい世の中のような気がします。

*腹立たしい。

*大変いい制度だと感じています。小学生になっても少ない数ですが、やはり病院には行きます。小学生も対象になればよいと思います。むやみやたらに病院へ行くことはないと思うので…。あとインフルエンザなどの予防注射なども使えるようになるとありがたいと思います。個人負担が多いと子どもの多いところはなかなか打てないと思います。今回も予防注射を家族で打ちましたが、かなりの金額でびっくりしました。大人 3,000円×2、子ども（2回分）5,500×2、どうかしてほしいです。

*現物給付制度は小さな子どもがいる家族にとっては手続きの負担が減り、又、その場での支払い額が800円とわかっているため安心して病院にかかれたので助かります。だいたい必要以上に病院にかかる人が増えたり、実際にかかった金額がわかりにくい為（毎回800円までしか払わなくてすむので）不正につながらないのか、それにより県（国）の負担が増えないのか考えていました。一般の人には医療費の請求内容がわかりにくいと思います。

*この制度が始まる前からテレビで県の対応についても知りました。少子化・子育て支援とはいっても県の対応は冷たい。新幹線にまわすお金はおしまないくせにと県政への不満を感じました。長崎市はそれでもこの制度を始めたことに対しては、市民の立場としては勇気あることだったと評価しています。

*市の補助がカットされるにもかかわらず、私達、親の事を第一に考え、現物給付制度を実施して下さった市にとっても感謝しています。以前は手続きが面倒で負担に感じていました。現在はとても楽です。ありがとうございます。

- *無理だとは思いますが、子どもが小学校に就学している間ぐらいまで助成してもらえると、とても助かります。
- *東京等の都市では更に手厚いと聞いている。保護者の平均年収が低い地方こそ助成してもらいたい。でなければ子どもはこれ以上産めない。
- *今年度から現物給付になってとても助かっています。共働きなので助成分の記入する時間がなく、助成の手続き漏れがあったのが無くなり、本当にありがたいです。
- *少子化を食い止めるためにも子ども医療費削減はすべきでない。
- *自己負担額が他県に比べて高い。他県は自己負担額なし、全額自治体負担のところもある。手続きが簡素化され大変助かっているが、まだまだ見直しが必要だと思います。今までの払戻手続きは本当にムダ作業でした。働く母親には時間がないということを理解して下さい。
- *教職員なので従来型で毎月窓口で申請をしている。支給方法が他とちがうので仕方ないと思うが私達も「現物給付制度」になったらいいのと思う。
- *今までの助成分を戻す手続きがなくなったのはとても助かっているが、補助金が減額する方針であれば医療費負担がさらに増えてくるのか。子どもが育てやすい世の中になってほしい。というか全ての人（老人～大人）に負担額を増やそうとするのがおかしいと思う
- *受給者証をもう少し小さめのサイズにしてほしい。
- *なぜ「補助金を」減額するのかわかりません。理由はなんですか？ 「現物給付制度」の便利さはわかりますが制度のシステムがよくわかりません。制度を実施するところが増えるのに、補助金をカットしたらどうなるのですか？ 意味がわかりません。教えてください。
- *少子化対策として国が現物給付制度を整備すべきだと思う。そのためにこれまでういた医療費（申請がされなかった一部負担金）がなくなるリスクを国がよしとしないのではないかとの思いもある。もっと国民レベルでの議論も必要。
- *利用者からしてみれば、やっと現物給付になったという感じです。ITの時代に紙の書類をたくさん書いて提出するのはとても時代遅れでした。今後もっとこの様な改善をお願いします。
- *一昨年までの書類の申請の方法は確かにとても面倒でしたが、返金があるためならしかたないと思い書類を書いていました。以前も何かの書面で1億円くらいのカットがあると読みましたが、なぜそうなるのかの説明はありませんでした。ただ今の現物給付はとてもありがたい制度なので、この制度に慣れてしまうと以前の方法には、なかなか戻りにくいと思います。
- *小さな子どもがいる親にとって病院の窓口で、すでに助成された金額のみ支払えばいいこの制度はとても親切だと思います。私は自分は制度加入の保険なのですが、子どもは夫の県の保険で制度の対象外なので薬と病院、1度に2枚の申請用紙を記入し、多い月は8枚という月もあり大変面倒なので子を自分の保険に入れられないか悩んでいます。
- *このまま助成を続けてもらいたい。そうすれば自分を含め誰もが複数の子どものもったとしても安心して育てられると思う。
- *受給者証をもっとコンパクトにしてほしい。
- *ピンクの紙が汚れやすいのでカードタイプにしてほしい。子どもがさわったり、汚したりして消えかかっている。
- *子どもにお金を使うのは当然だと思います。福祉に力を入れ、市民の為に良いことをしてくれているなど実感できる自治体であってほしいです。少子化なので特に。
- *かかりつけの病院では「福祉医療費受給者証」を月に1回見せると、たいていは給付制度を取り入れてくれますが、眼科など始めて行くところでは受付（支払い時）に何も言ってくれません。私も悪かったのですが、病院側も知っているものと思い何も言わなかったのですが、一言お互いに言い合った方がよいと思います。
- *他県から来られた方が、長崎では子どもの医療費の自己負担を支払わねばならないので大変だと言っておられま

した。完全に支払いなしの地方もあるようですが、少子化の中で補助金カットは子どものいる世帯の他県への流出を助長させる政策だと思います。

* 県が減額する方針ということは、少子化に対しての方針としての意味あいということでとらえられると思います。全国的に「少子化対策」をうちだしている中、逆行している様に感じられます。育てやすい、もっと出産しやすいと思う方も出てくると思います。

* 「補助金」が減額される背景を説明した後に、この設問はされるべきではないでしょうか。

* 現物給付制度を小学生も対象にしてほしい（0才～12才で中学校入学前まで）。

* 小学校卒業までもう少し伸ばして欲しい。

* ピンクの受給者証は保険証と同じ大きさだと財布にも入り便利だと思う。

* もっと子どもについての制度を手厚くして欲しい。新幹線をつくる金があるなら将来を担う子ども達の今後を考えて欲しい。

* 子どもの健康な生活が、どの様な世帯でも守られる様、この制度を続けていただきたい。

* このまま続けて欲しい。少子化といわれる中、小さな子を病院で診てもらって、支払いもその場で処理できて大変助かります。子どもを育てやすい環境を作ってもらい負担が少ないようにしてほしい。県も他の無駄使いをやめて子どもたちのために使ってほしい。

* 子どもの医療費助成制度は無償化となることで、子どもの健全育成に寄与すると思います。子育てを社会全体で支えるような社会になるように我々大人達が声を上げていくことが必要だと思います。

* 予防接種などの対象を拡大してほしい。インフルエンザ小学生以上は非常に高い3,500円1回目、3,500円2回目＝一人7,000円となっており、子どもの人数が増えると更にきつい負担となっています。タミフルが怖いこともあり予防接種は重要だと思います。

* 地方職員共済なので対象外のため、償還払いの申請が面倒です。



* とても良い制度だと思っています。これからも実施してほしいです。ただ公務員なのでその制度が使えず不便に感じています。

* 子どもは病気にかかりやすく、現在でも週に1回行ったりと負担は少ないとはいえ、毎月毎月を考えると結構な額です。9のようになるとやっぱり困ります。少子化の世の中、子どもを産んでも大変な世の中です。なのでこのまま少しでも助けてもらえると大変ありがたいです。

* 制度が出来て良かったと思いますが、他県では1病院での支払いが300円のみだったので、その頃に比べると今は高いように思います。少しずつ子育てしやすく変わってきているとは思いますが、子どもも増えても育てていきやすくなるように経済的に優遇されると良いと思います。

* こういう制度があれば、もっと子どもを生み育てるという気持が高まるのでは。

* 現物給付制度で小学校まではいいのですが、その前の子どもが3才までの受給だったので現在は受給を受けていないのが改正してほしいと思います。

* 補助金を減額するという事は「少子化対策」に逆行、矛盾していることのように感じます。

* 利用者にとって一番楽な方法なので助かっています。今後も「現物給付制度」がいいです。

* 原爆病院では使えなかった、どうしてですか？（ケガして病院に行ったら5,000円とられた）

* 子どもの医療費助成制度は県により違いがあり、ある県では中学校まで助成があったりと地域で格差があり不公平感がある。病弱で病院に受診する回数が多いため医療費がかかり大変だと思う。今春より助成がなくなるため（小学校入学）家計に負担がかかると思う。

*長大に入院した時に現物給付制度が使用できず困った。どこの病院でも使用できるようになってほしい。

*他県、他市、他町が、その制度を実施していないからといって、本市が他と合わせて減額するのは絶対おかしい！ しかも現物給付になったばかりなのに…。現物給付のために活動してくれた方々の努力も水の泡。国の借金の上で、子どもたちの健康や安心して医療を受ける権利がなくなるなんて事はあってはならないと思います。

*上の2人の時は現在のような現物給付制度はなく一時的にですが支払う金額が月に万単位でのぼるようなこともあったので、今の制度は大変助かっています。

*小学校入学前までというのを長くしてもらいたい。例えば中学前までなど。

*予防医療に力を入れれば、入院費等の削減につながり、行政側にとっても保護者側にとってもプラスになると思います。医療費は個々の家庭にとっても、特に低年齢であればかなり負担になります。少子化対策に力をいれて頂かないと確実に子どもに子どもを産める夫婦は減りますね。

*児童手当は6歳から12歳まで延長になったので医療費の助成も9歳か10歳まで延長していただければ良いのと思う。

*「現物給付」は非常に助かっています。子どもが小さいと病院に行く回数も多いですし、子ども2人となると1ヶ月の医療費が重みます。金額も1回800円と明確なものも良いです。しかし長崎市だけとは知りませんでした。国として実施を望みます。少子化対策としても！

*本当に助かっています。ありがとうございます。

*子どもは何かと病気やケガをするので、すごく助かっています。手続きもなくなり、本当に助かっています。

*大変良い制度だと思うのに、補助金がカットされると知って残念です。私たちが手続きを忘れて、面倒でやらないことが計算されているのではと思います。すぐくずる事だと思います。

*現物給付制度が長崎市内でしか行われていないとは知らなかったです。なぜ、今までこの制度ではなかったのか、不思議で仕方ありません。以前の仕組みは誰が見ても不便で、面倒でした。しかも、子どもをかかえて、こちらから時間やタイミングを見て出かけていくのはとても大変なことで、小さい子どもほど回数も多くなっています。今の仕組みに改善されてとても助かっています。お金も一度支払う（全額）と、助成されている実感が薄いし、今の制度を広めて欲しいです。

*少子化対策として考えるならば、もっと親の金銭面の面（子どもにかかる）で補助する。

*公務員の共済も現物給付となるよう制度を改正して下さい。

*子育てのために補助金を使い、未来の長崎市の発展をめざすのが何より重要だと思います。経済が落ち込んでいる長崎を元気にするためには、働きやすい長崎、子育てしやすい長崎のために現物給付制度をどうか継続して下さい。

*少子化対策という観点では、小児医療費の現物給付による保護者の負担軽減ということでは納得していますが、私のように母子家庭で障害者をもつ世帯でも、助成又は割り戻しの請求の手続きも大変です。現物給付制度をどんどん拡大させて欲しいです。

*現物給付制度はとても良いと思います。しかし、インフルエンザの予防接種などはそのままの金額なので、子どもが多いとかなりの出費になるので、考えて欲しいです。

*少子化社会に歯止めをかけるために、現物給付制度をどんどん導入して欲しい。女性の社会進出に伴い、子育て、保育支援等の制度はまだまだ希薄と思われる。経済的にも、やはり女性が子育てをしながら仕事をする状況を支援していく中で、今後の経済の発展及び市場も成長していくのではないかと思います。

*福祉医療費受給者証のピンクカードを月初めに病院に出さないといけないが、忘れた人は現物給付制度を利用できないのはなぜですか？住所と年齢が分かれば利用できるようにして欲しいです。

*一番病院にかかりやすい時期に助成制度があり、とても助かっている。また、子どもが手のかかる時期に手続き

が不要な現物給付は、マンサイドに立った制度である。この制度は私たち子どもを産む世代で、非常に話題にのぼる重要なことであり、このような制度の整備が少子化ストップに効果があると考えます。

*助成制度の自己負担がまだまだ高いと思います。他県では全額助成されると聞いたことがあります。少子化に歯止めをかけ、子どもを育てやすい社会を作ってもらいたいです。

*小学生も病気や学校でのケガも多く、助成金制度があると助かります。

*大変助かっています。ぜひ今後も存続させていただきたい制度です。

*複数の医院にかかるたびに必ず 800 円を助成しているが、この分は戻るのか？また、カードを出し忘れた時、普通に支払ったこともあり、割安感を感じない（医院からの確認が欲しい）。病人の子を複数連れて受診する際、親には余裕がないのももう少し工夫が欲しい。

*現物給付制度はすごく助かります。「補助金」の減額は怖いです。

*少子化をくい止めたいのなら、もっと子どもを大事にした制度を考えて欲しい。医療費助成制度の年齢拡大（小学校卒業まで）など。補助金削減は全く理解ができない。

*いろんな所に住んでいましたが（東京都江戸川区、福岡市）、現物給付でないところはありませんでした（江戸川区は1円もかからない）。今まで現物給付でなかったのが不思議なくらいです。県の財力の違いもあるとオムがくっは

*対象外をつくらないで欲しい！！

*日々の生活に追われていると、助成分の戻しの手続きはなかなかできません。その点、現物給付は非常に助かります。病院の窓口に行き、支払いをするたびに長崎市に住んでいることに感謝しています。県の減額方針は知りませんでした。驚きです。少子化対策を唱えるのであれば、国で考えていただきたい、良い方法だと思います。

*他県では医療費の自己負担がもっと軽かったり、受給者証が無くても（1医療機関での自己負担限度額が長崎市と同じ）母子手帳と保険証だけで済んだりした。小さな子ども毎月くらいでも小児科に通わなくてはいけない時もあるので、特に金銭的負担が大きい。その辺のことをもっと理解して改善していただきたい。

*現物給付制度は利用者にとって便利になるばかりではなく、経費節減にもなるのでは…（手続き漏れがなくなり、その分支出は増えるが）。補助金減額はおかしいと思う。

*手続きをするのがとにかく不満だったので、今年度からは楽になったし、生活しやすくなったと思う。県の方針は理由をしっかりと知りたと思う。

*現物給付制度はすごく助かっています。私は子どもが3人いますが、そのうち2人は就学前です。できれば小中学生でも医療費助成制度になればと思います。少子化をなくすには、少しオーバーですが、子どもが何人いても補助があるから生活は問題ないくらいの制度改革になると良いのではないのでしょうか？！

*子育てしやすい制度の充実で、子育て支援をしていただければ大変助かります。

*少子化対策の一環であると考えれば、子どもの成長に必要な制度だと思います。

*現在、少子化で子育てに対する支援活動の推進がなされている中、なぜ「補助金」を減額するのか全く理解できません。世論に逆行していると思います。今は子育てがいろいろな意味で大変な時代なのに最も頼りにすべき公的機関がそのようなことをするのは、精神的にもつらい気がしました。

*小学生も対象に入れて拡大して欲しい。

*産科婦人科を受診する場合の受診費の軽減を実施できる方法はないものかと思います。子どもを産む人が増えないのうなずけます。

*現物給付の方が申請しなくても良く、市役所の仕事も楽になり、とても良いと思いますが、すぐ近くの諫早市の小児科に行くことが多いので、できれば長崎県で実施して欲しい。でもそのせいで補助金カットされるのであれば、今まで通り申請した方が良くと思います。補助金が1億円カットされるということではどんな影響があるのか心配です。

*以前は3歳までだったのが就学前になり、本当に助かりました。集団生活に入る年齢からこそが病気になる機会も増えるので、良かったと思います。現物給付されることで事務処理などのコストダウンになっているのであれば、その分をカットして他の必要な所で生かされると思います。

*小学生になってからも少しでも良いので、何か別の方法で良いので助成制度があると助かります。

*乳幼児や高齢者の医療費については、全額を国民で支えられるようすべきと考えます。その分、稼働年齢層の保険料負担は高くなることを見込まれますが、国民はその使途が納得のいくものであれば、保険料に限らず、税金をきちんと納めるものだと思います。

*他県・郡では当たり前のように現物給付制度が行われています。都の友人宅では窓口負担はなく、保険証等だけ持って行けば受診でき、支払いもありません。子どもは急な発熱、ケガがあり、財布の中身を気にせず、すぐに受診できる現物給付制度は現状以上に維持すべきだと考えます。

*子どもが少ない時代なのに、なぜ補助金カットなのでしょうね。現物給付制度になり、領収を集めたり書類を書く手間がなく、助かっています。

*子どもが病気しやすく、月に数回は通院します。子どもも3人と多いので、今の制度になる前は病院代が毎日大変でした。しかし、現物給付になってからは書類の手間もなく、とても助かっています。小学校入学前までなので、卒業までとか期間がもう少し延びればもっと助かるのになぁと思います。

*利用者にとっても、支払い手続きを実施する市職員にとっても、手間が省ける良い制度だと思っていましたので、元に戻るとなると残念です。しかし、財政的に厳しいのであれば、致し方ないのかなと思います。

*もう少し年金を上げてでも、助成金をお願いしていただきたいと思います。

*現物給付制度は請求の手間が省けるので、非常に助かる。補助金カットになると助成金にも関わってくるので、育てる側としては大変困る。

*現物給付制度を受けられる年齢をもっと延ばして欲しい。

*なぜ「補助金」を減額するのですか？財源が厳しいのであれば、もっと他の所を見直す必要はないのですか？このようなことをしていたら、ますます少子化になるのではないのでしょうか？

*県にも家計にも無理なく、今のような感じで助成されると本当に助かります。子どもを産み育てる上では、医療費、教育費などのお金の心配が一番あります。こうした県や市の制度の見直しはありがたいことなので、今後ますます子どもが育てやすい社会になるよう願っています。

*これまで助成制度をほとんど利用していません。忙しくて提出していない自分が悪いのですが…。今回の現物給付実施は非常に評価していますが、でも私はシステム以外の人間なので悲しいです。なんか不公平さを感じています。

*学校に入ってから低学年の間は病気することが多いので、対象年齢を引き上げて欲しい！

*福岡市内ではたしか全額補助だったので、長崎市はやっと現物給付が始まり遅いなと思ったし、1ヶ月1,600円負担なので、市町村によって違うのだなと思った。でも、県全体で足並みを揃えて欲しい。また、補助金削減のことは知りませんでした。今イチ意味が分からないんですが、減額しないで欲しい。

*この制度が始まる前は何ヶ月分かをまとめて手続きし、まとめて返してもらっていたので、その分を子どもの学資保険の年払いの不足分にあてていたので助かっていた。現物給付制度になったらそういうふうにならなくなったので、少しやりくりが大変です。でも、この制度になって楽になって助かっているのも事実です。何とも言えない気持ちです。

*長崎市以外の病院でも現物給付制度になると助かるのですが…。

*以前のアンケートで現物給付制度にして欲しいと書き、実現されました。本当に助かっています。経済的にはもちろん、手続きの手間もなく、本当にありがたいと思っています。ずっと続けて欲しいと思います。お願いします。

*助成制度の内容がよく分かりません。この現物給付制度が補助金の減額対象になっているとのことでしょうか。

何に対しての補助金なのか具体的に分からないので、詳しく知らせてもらいたいと思います。

* 自己負担分をもう少し下げて欲しいです。

* 自分たちの医療費が3割負担となり、病院にかかることを考えることが多い中、子どもが病院にかかることを制限してしまうことがないように、安心してできる医療制度を拡大して欲しい。税金が弱者のために使われることを願います。

* 不景気な世の中、収入も安定しない生活を送っている人たちばかりです。そんな中ではどんどん子どもを育てる環境は厳しくなり、ますます少子化になっていきます。楽しく子育てができる世の中にして欲しいと思います。

* これまでの紙での提出はとても面倒で、こんなものに用紙を使って、紙代がもったいなく無駄だと思っていたので、今の方が良いです。物価も上がり、共働きでも生活は大変な時代です。子ども達には安心して医療制度が受けられるよう、取り組みを続けて欲しいです。

* とても助かっています。すごく良い制度なので、ぜひ続けて欲しいです。もうすぐ2人目も産まれるので、このままの制度の方が負担が少なくて便利です。

* 新しい制度が実施されるのは良いと思いますが、そのために税金が上がったりするのは困る。

* 受給者証のサイズが小さければ財布に入れられて、忘れることも減ると思いました。

* 長与の小児科に通っているため、現物給付制度を利用できない。長崎市だけでなく、どこの病院でも利用できるようにして欲しい。医療費の助成も就学前ではなく、もう少し延ばして欲しい。

* 現物給付は評価しているが、去年、子どもが大学病院に検査入院した時に適用されなかった。一時とは言うが、金額が高かったので困る。現物給付は急な病気とかでも気軽に受診できるのでとてもよい。

* 現物給付制度は大変助かっています。治りにくい病気（風邪などをこじらせた場合など）にかかる費用はかなり生活に負担がかかります。この制度ができたおかげで、すぐ診て治してもらおうという気持ちが湧いてきました。本当に良かった。

* 以前は医療費が月1万円以上かかり、その後の手続きも何度も病院に通い面倒でした。少子化の世の中で、現物給付のような制度がばいと、経済的にもかなり大変です。どうして自治体で異なるのか不思議です。国が統一して取り組む問題だと思います。定期的に通院が必要なため、助成を受けられなくなるので、今後が心配です。

* 自己負担金額をもう少し上げて（1日1,000円、1ヶ月2,000円まで程）、対象年齢を小学3年生くらいまでに延ばしてもらおう方が助かります。

* 子どもが喘息などの病気をもっていると、定期的に病院に行かないといけません。現在は小児科、耳鼻科、眼科と3人の子どもを週に1度連れて行っているのですが、とても大変です。他の市町村でも現物給付をしてくれないと、結局手間がかかります。国がもっと力を入れるべきだと思います。

* 今までは金銭的に病院に行けない時もあったので、大変助かっています。小学校まで対応してもらえれば、もっと助かります。

* 就学前までではなく、児童手当と同様、小学校3年生までを対象にして欲しい。

* 手続きするのが面倒だったんですけど、現物給付制度が始まって手続きをしなくてよくなり、助かっています。

* 子どもがやはり小さい時は病院にかかる率が多いので、この現物給付制度はすごく助かります。

* 毎月の上限が決まっているので、急な出費な時に「幾らかかるのだろう？」と考えることが無くなり、不安が解消されています。上の子の時は現物給付制度が無かったが、簡単になり（償還払いと比べ）、本当に助かっています。特に入院費などは低額で安心したことを覚えています。

* 他自治体では乳幼児医療について、全額負担してもらえたり、限度額が少なかったりと統一されていないのは平等ではないと思います。各自治体ではなく、国が実施して欲しいと思います。「少子化」とやたら言っている割に、制度が全く充実していないことに非常に疑問を感じます。本当に真剣に取り組むのであれば、無料にすべきです。

*月の負担が少し上がっても、小・中学生まで助成があったら助かる。年齢が上がると、医療費の上がり方が大きい。

*長崎は原爆手当があるからでしょうか。子どもを育てていくための助成金が他の都道府県に比べると少ないようです。本制度は続けて欲しい。

*「現物給付」になって、とても助かってます。役所に行ったりするのも交通費がいるし、領収書をなくしたりして、もらえなかったものもあるし、正直、前の制度は県や市が手続きを面倒にして申請する人を少なくしようとしたか思えませんでした。本当は、小学生まで助成してほしいと思います。

*もう少し「福祉医療費受給者証」を小さく（例えばキャッシュカードくらい）してほしい。ちょっと持ち運びがしにくいので。

*少子化と言いながら、それに逆行するのはおかしいのではないかな。

*出産費や妊婦検診の費用が高いので子どもを産むのが少ないと思うので、もっと考えてほしい。

*病気しても負担に思うことなく病院へ行けるし、とてもたすかっていますが、補助金の削減で別のことが削減になるのはこまるなと思っています。

*「現物給付」。この言い方がなじめない。堅苦しいイメージ。制度としてはとても評価している。先日、子どもが手術を受けました。市内在住の私は当日の支払いが約千円で済みましたが、市外からの方は申請すれば助成があるが、一旦窓口にて数万円の支払いをしないとイケないとのこと聞いて、現物給付のありがたさを再認識しました。全国的に実施すべき制度だと思います。

*受給資格が「小学校就学前」ですが、1～3月までの誕生月の子どもだと、最長資格がある方と約1年短くなります。はっきりとした年齢7才までとかに変更していただきたいです。

*子育てを支援するといいいながら減額するというのはおかしい。県等は裏金問題等まずそこから自制していく必要がある。余ったお金はそこにあるのでは…？

*現物給付制度になってめんどろな手続きもなく本当に助かります。

*「福祉医療費受給者証」は持っていますが、現物給付でなく償還払いのため窓口に提出したことはありません。現物給付が良いですし、できれば医療費全額負担（大分市はそうでした）にして欲しいです。住んでいる市町村でシステムが違くと、転勤族にとってみると損した気分です…。

*償還払い制度の時は、その都度申請書を書かなければならなかったので手間がかかっていましたが、現物給付制度に変更となり、手間ははぶけてとても助かっています。小さい子どもは、よく病気にかかり、特に小児科では薬を2～3日分しか処方されないの、何度も受診することになり、受診料の負担も大きいです。しかしこの助成があり、本当に感謝してます。現物給付にすることで市の負担金が増えたこともTVで知りました。このことも、子をもつ親がみんな理解し、利用していけたらと思います。

*育児を行っている母親や父親にとって増税は大変こまります。また、様々にお金がいる時期でもあり、現在次の子どもを欲しいけど、様々な手続きやお金がかかることで、どうしようかと迷うこともあります。医療費助成は基本であると思います。

*年々、少子化になっているこの現代、子どもの成長、安全を守るのは大人の努めだと考えます。高齢者の今受けている年金や医療給付や、これから受けとるだろう50代、60代の方々の給付金は、今の30～40代が支えており、私達も今の子ども達に支えてもらうだろうということは、まぎれもない事実です。それは単に、お金の面ではなく、社会的活力や介護もしかり。国をあげて子孫をつなぐことが今、必要だと思います。そのための健康を守る「医療費助成制度」は、これからも大切に活用したいです。

*6才の子どもが入学と同時に福祉医療費の対象外となりますが、2才の頃よりずっとぜんそくの薬を飲み続けています。4月からも引き続きの治療となります。このように長期にわたる場合は、医師の証明があれば、福祉医療が受けられるようにして頂きたいです。

*喘息などの持病をもっていると病院に行く回数が多く現物給付制度にさせていただき、大変たすかっています。働いている者にとっても、手続きがなかなか出来なかったの、いい制度だと思います。

